

2024年度自己評価結果公表シート

1、本園の教育目標

キリスト教信仰を基盤に子どもたち一人一人が大切な存在であり、友だちとの交わり、遊び、祈りを通して、互いに相手を敬い、相手を大切にし、愛するというを園生活を通して培われていくことを教育の目標としている。

- 1) 友だちと元気に仲良く遊ぶ。遊ぶことは学ぶこと（毎日がわくわく、どきどき心が動く）
- 2) 創意、工夫したことを楽しんで表現する。
- 3) 感謝の心を育む。
- 4) 豊かな情操を培う。
- 5) 子どもの発想と子どもの自らの遊びを大切にす。

2、本年度の目標・計画

教育目標に基づいて職員間で共通の認識をもち、達成できるように取り組む。
また、自身の保育のあり方を見つめなおし教育の質の向上に努め、教育内容に改善に取り組めるようにする。

3、評価項目の達成状況及び取り組み状況

評価項目	取組状況
園の教育理念・教育方針の理解 幼稚園教育要領の理解について	・園の教育理念や教育方針について園の目指す幼児の姿を具体的にイメージし理解できている。 職員間で「幼稚園教育要領」「2024年度版キリスト教保育指針」を基にしながら園長、教職員で話し合いながら指導計画を作成している。
指導計画の作成と、環境の構成について	・園の方針に基づいて子どもの興味や関心、予想される子どもの姿を考慮し指導計画を作成している。 ・環境構成については安全で楽しい雰囲気の中で安心して活動できる環境作りを心がけている。
健康と安全への配慮	・園庭や遊具、室内遊具の安全な使い方、遊び方について子どもたちに周知し安心して遊ぶことができるようにしている。
保育のあり方、子どもへの対応	・十分に対応できている。

健康と安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた環境構成や言葉がけを行っている。 ・教諭は保育室・園庭等で常に子どもたちが安心安全に遊ぶことができるよう見守っている。また、危険な遊びがあれば注意を促している。
保護者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時、コミュニケーションを取ることを心がけ、子どもの様子を伝えるようにしている。 ・学期ごとに保育参観や個人面談を行っている。
地域社会との関りを深める	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症流行のため思うように地域社会との繋がりを作ることができずにいたが、新しい繋がりをめざして努力していきたい。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・教諭の自己評価について、おおよそ「はい」または「大体あてはまる」としているが、より高い目標を持ち、より良い保育を目指して欲しい。また、幼稚園はいっそうのサポートをしていきたい。

5、今後取り組むべき課題

①危機・安全管理体制の整備

・地震・津波・火災に対する避難訓練、防災訓練、交通安全教室の実施等、よりいっそう子どもの安心安全を考えた取り組みを強化する。

②若年教員の育成およびスキルアップ

・研修への参加、先輩教員からのアドバイス等により当園の職員としてのスキルを身につけてもらいたい。

・保育に対して情熱を持って取り組めるよう、より高い目標をもって保育に取り組める言葉がけをしていきたい。

*今後取り組むべき課題については「2024年度自己評価」が登園にとって初めての試みであり、達成評価状況及び取り組み状況について評価しづらく思います。来年度は今年度の自己評価を考慮しながら取り組んでまいりたいと思います。